

ヒガンバナでつなぐ青森との絆

5月6日、中津川地区のむつみ会が本町の友好交流都市である青森県鶴田町にヒガンバナの球根274kgを送りました。同会がリンゴの収穫を手伝いに同町を訪れたことから始まった取組で今回で5回目。会長の宮脇久夫さんは「コロナの影響で青森に行くことは難しいですが、きれいに咲くヒガンバナを見て楽しんでもらえたらうれしいです」と話しました。



◀鶴田町役場前で咲きました ▲丁寧に泥を落としました

成長への願い込めて稚鮎放流

4月8日、22日、川内川漁業協同組合が川内川とその支流でアユの稚魚を放流しました。この事業は、川内川の水産資源の減少を防ぎ、安定した漁獲量を確保するため、毎年この時期に行われています。今年は稚鮎約140kgを放流。体長5cmほどの小さいアユが、6月1日の解禁日の頃には20cmほどに成長します。釣り人にとって待ちに待ったシーズンが訪れます。



川内川の水産資源を守り、アユの豊漁を願って放流

私たちができる SDGs ① 目標12「つくる責任 つかう責任」

12 つくる責任 つかう責任



地球ですずっと暮らしていくために

私たちに、物を購入し消費していくことは生活していく上で欠かせません。今月はSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」について考えてみましょう。

POINT

持続可能な生産と消費に向け責任ある行動をとる

物を大量に生産し、大量に消費している現代社会。このままでは資源が無くなり、環境破壊や汚染が進んでいくことが予想されます。持続可能な生産活動と消費をしていくためには、廃棄物の削減やリサイクルの推進、食品ロスの削減、効率的な資源の活用などが必要です。持続可能な生産と消費のために、次のようなことに取り組んでみませんか。

取組例

- 買い物のときはエシカル消費^{※1}を心掛ける
- レジ袋ではなくマイバッグを使う
- フェアトレード^{※2}商品を積極的に買う
- 食べ切れる量の食材を買う
- ごみを分別して出す

※1 エシカル消費…人や社会、環境に配慮した物やサービスを選んで消費すること。

※2 フェアトレード…途上国で生産された製品を適正価格で取引して、生産者などの生活改善や自立を目指すこと。

SDGsに取り組んでいます

さつま町女性団体連絡協議会

女性団体連絡協議会で以前から行っている

取組の一つが、ペットボトルのキャップを寄附して、途上国のワクチンの購入費用に充てる活動です。会員みんなでペットボトルキャップを集めていて、年に一度、社会福祉協議会を通して寄附しています。

そのときには軽トラック2、3台分ものキャップが集まりますよ。また、現在町で行っている生ごみ分別も、私たちがごみ問題に取り組み続け、町に呼び掛けたことがきっかけで始まりました。生ごみを分別することで燃えるごみが実際に減って、効果を実感しています。一つ一つは地道なことでも、継続してやり続けることが大事だと思います。



町女性団体連絡協議会 横山 より子 会長

問 企画政策課 企画政策係 (内線2224)

中津川でハチミツ搾りを体験

4月28日、中津川地区でハチミツ搾り体験が行われ、恵光保育園の園児14人が参加しました。ミツバチが蜜を集めたのは、昨年11月に園児が田んぼに種をまいたレンゲソウ。トロリとしたハチミツが出てくると園児から歓声が上がりました。体験した池山朝陽ちゃんは「初めてで怖かったけど、ハチミツがたくさん採れて楽しかったです」と話しました。



甘いハチミツがたくさん採れました

さつまのマンゴーを味わって

4月28日、佐志地区の新生団地でマンゴーの収穫祭が行われました。アーウィンという品種で、香り高くとろけるような濃厚な甘みが特徴。かごしまブランドに指定されています。町内では北さつま農協マンゴー部会の5人が栽培し、今年度は8トンを生産する見込み。マンゴーの出荷は鹿児島市場を中心に7月末まで続きます。町内ではちくりん館などで販売される予定。ぜひ味わってみてください。



赤く熟したおいしそうなマンゴーを収穫

青空の下 春まつりにぎわう

5月4日、北薩広域公園春まつりが行われました。町内の飲食店も出店したピクニックマーケットや警察ふれあい展、消防車両展示が催され、穏やかな陽気の中、多くの家族連れで会場は大盛況。ふるさとゾーンではミニサンドボトルやバードコール、革のクラフトの工作体験会が開かれ、参加者はお気に入りの作品を完成させ満足な様子でした。



多くの家族連れでにぎわう会場